

# これ、せん？ 千里 アクティビティ ガイド

アクティビティガイド『これ、せん？』は、  
千里中央駅周辺地区の未来について考える市民ワークショップ「これから千里」や、  
企業ワークショップ「せんりまなぶくらす」で出た意見をまとめました。  
市民・企業のみなさんが取り組んでいきたい「アイデア」(これ)を、  
みんなで協力して「やってみよう！」(せん?)という想いを表現しています。

発行 豊中市  
発行日 令和6年(2024年)3月  
編集 studio-L  
イラスト 網本武雄(手しごと舎 tane)  
問合せ先 豊中市都市計画推進部 都市整備課 北部整備係(06-6858-2674)



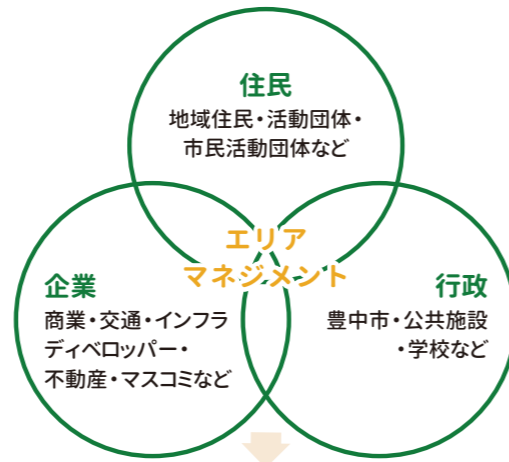
# これせん？

千里  
アクティビティ  
ガイド

1962年のまちびらきから60年が過ぎた千里ニュータウン。老朽化した集合住宅の建替えも少しずつ進み、これまで地域で暮らし続けてきた方々に加え、再び若い世代の生活の場ともなり、子どもたちの声も聞こえるようになっていきます。このような中、千里ニュータウンの中心地の一つである千里中央センター地区においては、2014年に『千里中央地区活性化ビジョン』が策定され、北部大阪の都市拠点としてのまちづくりの理念や担うべき役割、機能などが示されてきました。この『千里アクティビティガイド これ、せん？』は、千里中央地区活性化ビジョンの実現に向け、千里中央駅周辺地区の商業機能や交通機能、公共空間、住居機能などを段階的に再整備していく一方、この地区にかかわる住民・企業・行政など、多様な主体によるパートナーシップによるまちづくりを進めるため、現状を共有し、目指すべき未来へ向けてともに歩みを進めていくために作成しました。今後は地域活動などを通じてみなさんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。

## エリアマネジメントによるまちづくり

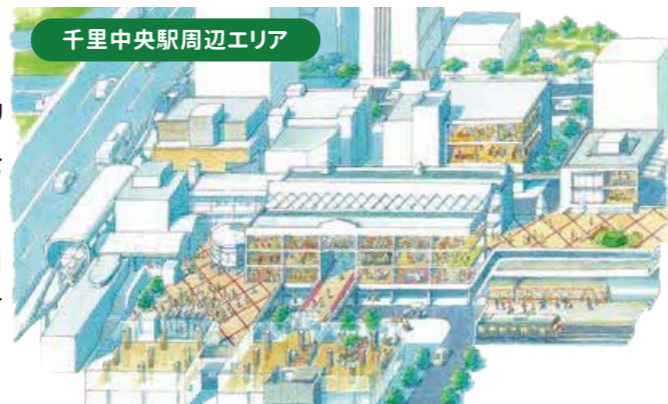
今後の千里中央駅周辺地区のまちづくりを進めるうえでの大切な視点の一つに「エリアマネジメント」があります。これは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・企業・行政などによる主体的な取り組みを意味します。これらの主体がともに学び合いながら、新たなチームをつくり、一步を踏み出すための参画の場づくりと、活動を支えるための仕組みづくりが必要となります。『千里アクティビティガイド これ、せん？』は、エリアマネジメントによるまちづくりを進めるための第一歩として、これら多様な主体の参画によってまとめられました。



学び合い・チームづくり・社会実験・空間整備・体制、仕組みづくり・人材育成・活動プログラム・施策・事業 など

## アクティビティガイドの構成

今後再整備が段階的に進んでいく「千里中央駅周辺エリア」と「公園エリア」、さらにはこれらの整備によって影響を受ける周辺の「住宅エリア」の3つで構成しています。また、それぞれのエリアで「現在」(地域の魅力と課題)と「未来」(ビジョンや今後の取組)について、イラストを交えて説明する構成としています。



## アクティビティガイドができるまで

### 市民ワークショップ 全3回



2022年12月にスタートした市民ワークショップでは、エリアマネジメントや住民参加のまちづくりについての講演や、千里中央駅周辺地区で大切にしたいことや活動アイデアの意見交換を行いました。公共空間を豊かにしていくための活動について、事例を学びながらワークを進め、アクティビティガイドの案についても確認・検討を行いました。

### 地域ヒアリング 全5地区



2023年の夏に地元自治会の方々にヒアリングを実施しました。地域の特徴や課題、これから取り組みたいことなどについてご意見をいただきました。住環境や福祉、子育て、買い物、移動に関することなど、日常生活に根差した貴重な視点が数多く挙げられました。また、AI技術の活用など、未来の可能性についても示唆に富んだご意見が寄せられました。

### 企業ワークショップ 全3回



2023年の秋から本地区に関わる企業を対象としたワークショップを開催しました。空間整備の方向性や課題などを共有し、今後の事業や活動の可能性について検討しました。エリアマネジメントについて学ぶとともに、アクティビティガイドのベースとなる3つのエリアでの取組について話し合い、その実現のためのプロセスや体制についても考えました。

## 各ページの見方

### 現在 から 未来 へつなげる

#### 現在の意見

地域の魅力と課題について整理しています。魅力を生かしながら、みんなで協力して課題を解決していくためのまちづくりの基盤となるものです。

**魅力**  
多くの企業が集まるまち  
多様な業種の企業が集まっており、企業間でも集まって、地域と協働しようとする動きがあります。

未来に活かそうな  
まちの魅力

**課題**  
みんなで協力して  
解決したいまちの課題

建物やお店の情報や  
位置関係がわかりにくい  
情報が集約されている場所や情報源がなく、情報が分散しています。

#### 未来のアイデア

地域が目指す方向性について、特に「場づくり」(プレイスメイキング)の視点から、今後の目標と取組アイデアについて掲載しています。

取組が実現したら、関わった主体に色を塗ろう!

**住民** 空き店舗やオープンスペースを活用したチャレンジショップ  
**企業** 新規に店舗を構える前のスタートアップの場として空き店舗や、オープンスペースも一時的な活動場所として活用しています。  
**行政**

**住民の協力** お店の開店に挑戦するなど  
**企業の協力** 空き店舗の提供など



住民と企業の観点からそれぞれが協力できること

千里中央駅  
周辺エリア

## 地域の魅力と課題

駅周辺エリアは、お店やオフィスが立ち並ぶ集積地のような機能を持つ地域です。また、地下鉄やモノレールがあり交通の便にも優れています。ニュータウンの開発当初から続く施設が多く、地域から愛されるお店や場所がある一方で、施設の老朽化などの課題が見られます。

## 魅力

**北摂地域のコアとなる都市機能が集積している**  
オフィス、商業、銀行、レストランなどがあり便利です。

## 魅力

**多くの企業が集まるまち**  
多様な業種の企業が集まっており、企業間でも集まって、地域と協働しようとする動きがあります。

## 課題

**建物やお店の情報や位置関係がわかりにくい**  
情報が集約されている場所や情報源がなく、情報が分散しています。

## 課題

**環境面に配慮した企業活動が必要**  
持続可能な地域を目指し、衣類や食材の利活用、企業と住民の連携による取組の実施を行う必要があります。

## 課題

**夜遅くまで楽しめない**  
お店の閉店時間が早く、夜遅くまでお店で楽しむことができません。また夜道の安全性の確保が必要です。

## 魅力

**歌手の登竜門的な場所があった**  
若い歌手が、セルシーの前に路上ライブを開き、売れていったという話があります。その話が今でも言い伝えられています。

## 課題

**時代にあった働き方に対応できていない**  
ベッドタウンとして機能していたため、近年注目されている「職住近接」としての機能に対応できていません。

## 魅力

**都心部に行かなくても商品が揃っている**  
大阪市内まで行かなくても、生活に必要なある程度の商品を駅前で購入することができます。

## 課題

**日常品が買えるお店が少ない**  
日常的な食料品などを買う場所が減っています。ファミリー向けの店に偏っています。

## 魅力

**住民の活動が活発になってきている**  
千里文化センターなどの活動拠点があり、市民活動団体の交流が図られています。それにより、多様な活動が生まれています。

## 魅力

**子どもが遊ぶ場所がある**  
子育て層に向けたイベントやパルやまなどの場所もあり、子どもたちが楽しく遊べます。

## 魅力

**学習や情報収集できる「学び」の場所がある**  
図書館や書店がある他、習い事や自習ができる場もあります。特に夕方から夜にかけて子どもの利用が多く見られます。

## 魅力

**交通の利便性が高い**  
地下鉄とモノレール、バスがあり、都心部への交通の拠点となっているため便利です。

## 課題

**コミュニティスペースが不足している**  
市民活動が増えていく一方で、活動するための場所が不足しています。

## 魅力

**ご近所の人たちが出会う場所になっている**  
ランチができるカフェが多く、定期的開催されるイベントにより、ご近所どうして集まって団らんする場となっています。

## 課題

**自転車や車での利用が難しい**  
道路が狭く、違法駐車や送迎待ちが多く、車が走りにくくなっています。

## 課題

**歩行者の動線が悪い**  
歩行者の動線が悪く、歩きにくい場所やベビーカー・車椅子利用者には不便な場所があります。

## 課題

**将来のまちのにぎわいが心配**  
施設の老朽化が進み、北大阪急行が延伸するなど地域の状況が変化する中で、将来のまちのにぎわいに不安があります。

# 千里中央駅 周辺エリア

未来のアイデア

## 地域のサステナブルな暮らしを支える拠点

- 暮らしの利便性や安心を支える商業の場
- 地域の人や来訪者の交流でつながりが生まれる場
- 幅広い世代が学び、働く場
- 交通や情報の結節点としての場

住  
企  
行

### フードロス削減の取り組み

飲食店からの消費期限が近い食材を再利用するしくみをつくることで、食品の廃棄を減らし、環境に優しい社会につなげています。

住民の協力 企業の協力

廃棄されそうな食材の活用を考えるなど  
廃棄されそうな食材を提供するなど



住  
企  
行

### まちぐるみの防災体験

多くの人が集う駅周辺エリアではいざという時のために安全な場所を把握しておくことや、助け合える関係を日頃からつくっておくことが大事です。

住民の協力 企業の協力

避難経路を考えるなど AED講習の開催など



住  
企  
行

### 多くの人が集まる四季に応じたイベント

駅周辺のオープンスペースには、多くの人が集まります。季節に合わせて、人々がにぎわいイベントを開催しています。

住民の協力 企業の協力

市民活動団体を立ち上げるなど  
住民の活動と協働するなど



住  
企  
行

### 参加して循環するまちのコイン

企業や住民などによるまちづくりの取組に参加することで共通の通貨(=コイン)が発行されます。コインは、飲食店などで利用でき、参加する楽しみを生み出しています。

住民の協力 企業の協力

活動をまちの人に披露するなど  
コインが使える場所や財源を提供するなど



住  
企  
行

### 企業などが日替わりで担当する総合案内所

千里中央地区の企業などが案内窓口を日替わりで担当することで、企業の特徴や地域で行われている取組、バリアフリーに関する情報などを知ることができます。

住民の協力 企業の協力

千里のおすすめを伝えるなど  
窓口立つ人材を育てるなど



住  
企  
行

### 空き店舗やオープンスペースを活用したチャレンジショップ

新規に店舗を構える前のスタートアップの場として、空き店舗やオープンスペースも一時的な活動場所として活用しています。

住民の協力 企業の協力

お店の開店に挑戦するなど 空き店舗の提供など



住  
企  
行

### 地域の情報が一元化されたアプリ

イベントの案内や駅周辺店舗のマップ、シェアカートの情報など、エリアを楽しむ情報が一元化されたアプリを使って、1日の過ごし方を考えることができます。

住民の協力 企業の協力

クチコミの投稿など アプリの制作など



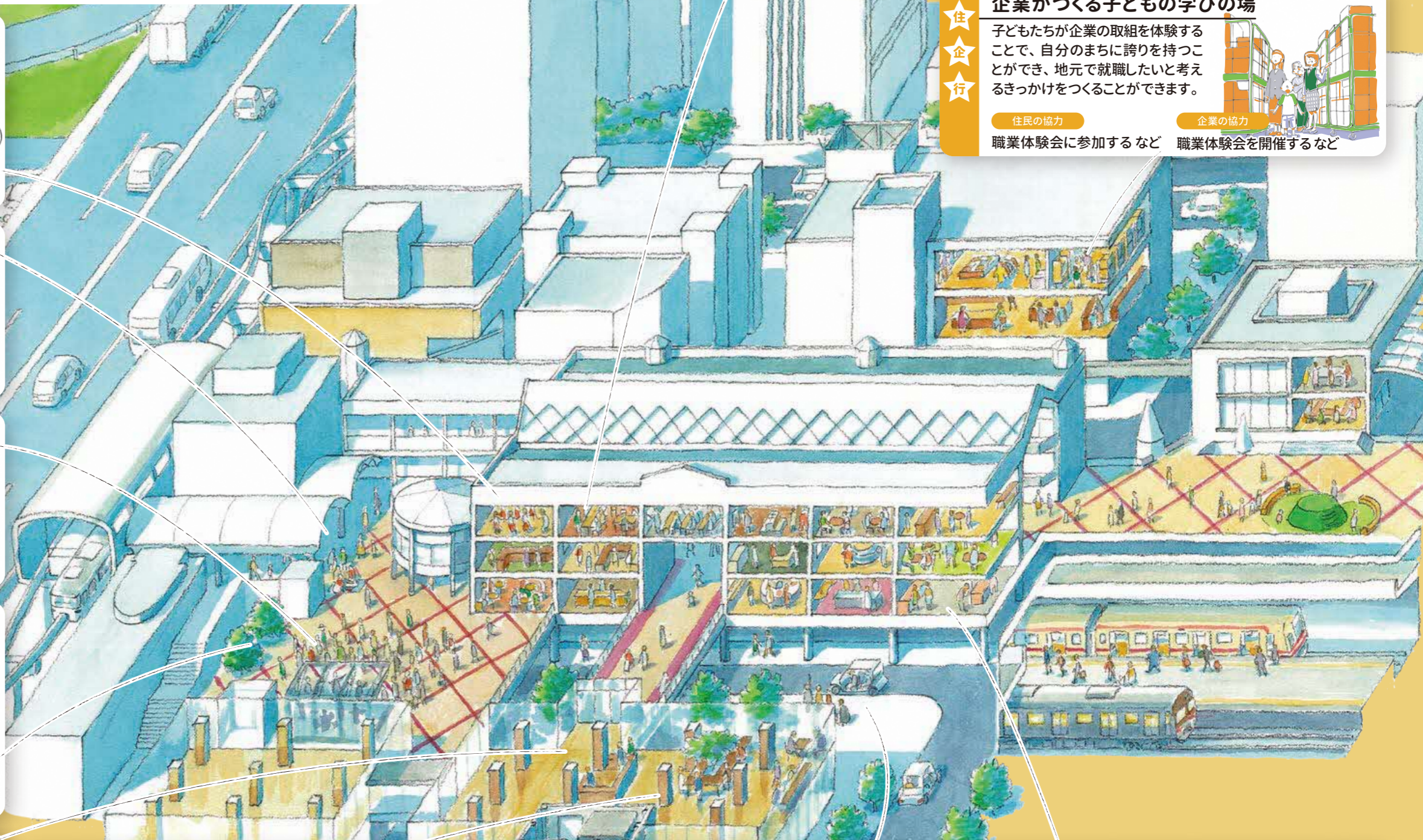
住  
企  
行

### 企業がつくる子どもの学びの場

子どもたちが企業の取組を体験することで、自分のまちに誇りを持つことができ、地元で就職したいと考えるきっかけをつくることができます。

住民の協力 企業の協力

職業体験会に参加するなど 職業体験会を開催するなど



住  
企  
行

### コワーキングスペースで学生と社会人が交流

学生と社会人の両方が使えるコワーキングスペースでは、お互いの学びを伝えあい交流を図っています。

住民の協力 企業の協力

学びを発表するなど 自社の取組を発表するなど



住  
企  
行

### 新しいことにチャレンジできるインキュベーションの場

新しい技術が試せる場をつくることにより、まちが抱える課題を解決しつつ、技術の発展にもつなげています。

住民の協力 企業の協力

社会実験に参加するなど 新しい技術に挑戦するなど



住  
企  
行

### 北摂地域の食材が楽しめる飲食体験

周辺地域の農家などから収穫される食材を、地域の中で使うことで、安心して安全な食生活や地域の交流につなげています。

住民の協力 企業の協力

収穫した食材を提供するなど 飲食店のメニューに取り入れるなど



## 地域の魅力と課題

千里ニュータウンは、自然環境を残すことを意識しながら居住地が整備されました。そのため、住宅のなかにも多くの公園や緑道が広がっています。公園は災害時の避難エリアに設定されており、地域の重要な拠点となっています。その一方で、自然環境の管理や避難時の対応などは地域の課題としてあげられています。

## 魅力

## 緑豊かな風景

もともと丘陵地だった千里。樹木や竹林、草花などの緑豊かな地域です。

## 課題

## 成長の早いみどりの手入れは大変

管理が行き届かず、うっそうとして近寄りたがたい雰囲気になっている竹林などの緑もあります。

## 魅力

## 多くの種類の生き物がいる

大きな公園や緑地には、多くの昆虫や鳥が生息する雑木林、池などが多くあります。

## 魅力

## 災害時などの地域住民の避難エリアとして活用できる

大小多くの公園が、もしもの時の地域の避難場所となっています。

## 課題

## 地域住民以外の防災対策が不十分

住民だけではなく、来街者や通勤通学で多くの人が行き来する、地域全体の防災対策があいまいです。

## 課題

## にぎわいと豊かな自然の接点が少ない

商業施設が多くある一方、豊かな自然がすぐ近くにある千里の特徴が活かしていません。

## 魅力

## 昼間は安心して歩ける緑道がある

歩車分離でまちの中心部から家まで、安心して歩ける公園や緑道があります。

## 課題

## 街灯が少なく夜は怖い場所もある

緑が多い反面、人の気配が希薄な場所、防犯面で不安な場所もあります。

## 魅力

## 公園でのイベントには人がよく集まる

広い公園など、楽しく魅力的なにぎわいを生みだすイベントも開催されています。

## 魅力

## 幅広い世代が利用できる

子どもからお年寄りまで、それぞれが落ち着いた時間を過ごせる公園です。

## 課題

## 公園の広さを活用した取り組みが少ない

ニュータウンに散在する広々とした公園をうまく活用できていません。

## 魅力

## 緑道や公園などみどりが多い

千里中央公園などの大きな公園から住宅地の中の公園まで、大小多くの公園があります。

## 課題

## 公園に遊具が少なく禁止事項が多い

遊具が少なく火気やボール遊びなどの制限で、公園での魅力的なアクティビティが生まれにくいいため、子どもが集まる目的が少ないです。

## 課題

緑道や公園などを歩く時にアクティビティを見つけにくい屋外での魅力的なアクティビティを見つけにくいです。

未来のアイデア

活動を通じてみんなで育てる場所

- 屋外の自然環境を活用した取組を実施する場
- 千里中央地区などの商業との融合が体験できる場
- ウォーキングやランニングなど健康づくりができる場
- 樹木・草花・竹林を持続的に管理し自然環境を活かせる場

竹などのみどりを活用した公園の魅力づくり

竹などのみどりを活用して、食品開発やベンチ、遊具などの設備をつくっています。

- 住民の協力  
竹林の管理など
- 企業の協力  
工具の貸し出しなど



日常でも使用できる防災意識を高めるための防災設備

災害時にすぐに対応できるように防災学習の場として日常的に防災イベントを開催しています。

- 住民の協力  
防災キャンプをするなど
- 企業の協力  
防災グッズを提供するなど



駅近のロケーションを活かしてエリア限定でキャンプ

遠方に出かけずとも千里には豊かな自然が広がっていることを活かし、日帰りでキャンプを楽しめる場所にしています。

- 住民の協力  
屋外の楽しみ方を伝えるなど
- 企業の協力  
キャンプ道具を貸し出すなど



緑道で楽しむウォーキングやショッピング

整備された緑道でウォーキングやランニングを楽しむことができます。また、緑道周辺のお店に少し立ち寄って買い物も楽しめます。

- 住民の協力  
ヨガ教室の開催など
- 企業の協力  
朝市の開催など



いつまでも昆虫観察ができる場所

緑道や公園の自然環境を次世代に引き継ぎ、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ楽しさを守ります。

- 住民の協力  
自然環境の手入れなど
- 企業の協力  
昆虫観察教室の開催など



屋外で映画やパブリックビューイング

公園という多世代の住民が利用する場で、映画やスポーツ観戦をしながら、ゆるやかな地域の交流をつくっています。

- 住民の協力  
野外映画祭の主催など
- 企業の協力  
飲食ができるキッチンカーの出店など



誰もが気軽に参加できるスポーツイベント

気軽に参加できるスポーツを楽しむことで、地域住民の交流が生まれ、お互いを見守り合う関係ができています。

- 住民の協力  
ゆるスポーツの開催など
- 企業の協力  
遊び道具の貸し出しなど



屋外で本を楽しむスペースづくり

公園の静かな空間で、ピクニックシートを敷いて、ゆっくり読書を楽しんだり、絵本の読み聞かせに耳を傾けたりしています。

- 住民の協力  
読み聞かせの開催など
- 企業の協力  
本棚づくりに必要な資材や道具の提供など



緑道沿いで楽しめるキッチンカー

公園周辺にある商業との一体的な取組として、公園内にキッチンカーが並び、自然の中で買い物を楽しんでいます。

- 住民の協力  
買い物を楽しむなど
- 企業の協力  
キッチンカーの出店など



みんなで育てる花壇

住民や企業が日常的に対話してみどりの大切さを実感し、公園を自宅の庭のように楽しみ、手入れできる花壇があります。

- 住民の協力  
花壇の水やりなど
- 企業の協力  
廃材をアップサイクルした土づくりなど



住宅  
エリア

## 地域の魅力と課題

住宅エリアは、千里中央駅周辺の住宅地をイメージした地域です。日本で初めての大規模ニュータウンとして構想された千里ニュータウンは、60年以上が経過し、今では高齢の方から若い世代まで、幅広い年齢層の方が暮らしています。都市部へのアクセスの良さから転居先として選ばれることが多いまち。一方で、世代を横断した交流が少なく、転入された方のコミュニティからの孤立が課題としてあげられています。

## 魅力

古くからのお祭りや  
農業の文化が続いている地域

ニュータウン内のほとんどの地域は開発された場所のため祭りがありませんでしたが、古くからある地域では、お祭りや農業などの文化が続いています。

## 魅力

多くの企業・事業所が  
身近にある

幅広い職業・ノウハウのある企業・事業所が身近なところにたくさんあります。

## 魅力

駅周辺には大型の商業  
エリアがある

中心部には大規模な商業施設があり、買い物などが便利です。

## 課題

ニュータウンの企業と  
地域の交流が少ない

中心部の商業施設と住宅エリアがはっきりわかれており、交流や連携が少ないです。

## 課題

地域の防災対策の  
見直し・充実が必要

人の入れ替わりが多く、住民全体のニーズに合わせた防災対策が必要です。

## 課題

住宅地には飲食店がない  
ニュータウンの住宅地には、身近なところで集い、飲食する場所がありません。

## 課題

## 身近な買い物が不便

住宅地には店舗がなく、ちょっとした買い物、日常生活に必要な買い物をするのが不便です。

## 魅力

## 歩車分離で安全なまち

歩車分離の緑道や車が通り抜けできない道などがあり、安全に歩けます。

## 課題

## 起伏が激しい土地

もともと丘陵地のため坂道が多く、移動の負担が大きいです。

## 課題

世代を横断した交流が  
できていない

学校に通う子ども、働く大人、リタイア世代などが会い一緒に活動する機会が少ないです。

## 魅力

さまざまなスキルや経験  
を持った人が暮らしている

人口の多い千里には、大阪を中心にさまざまな仕事に従事している人がいます。

## 課題

活動の拠点となる  
公共施設の不足

地域活動は活発ですが、近隣センターなどの集会所が手狭であり、新たな場所の創出など改善の必要があります。

## 魅力

## 転居先には選ばれるまち

交通アクセスも、居住環境もよいので、転勤者に住まいとして選ばれることが多いまちです。

## 魅力

## 若い世代の転入も多い

転勤などで入居する若い世代も多く、託児や教育などへのニーズも高いです。

## 魅力

子どもの数が増えている  
ところもある

転入してくる家族も多く、小学校も子どもたちでにぎわっています。

## 課題

転勤してきた人と地域の  
つながりづくりにくい

新たに転入してきた人と地域コミュニティとの接点が少ないです。

未来のアイデア

縦と横のつながりが生み出せるまち

- 世代を横断した関係が出来る場
- 同じ年齢層同士が関係をつくれる場
- 転勤先として選ばれ、安心して暮らせるコミュニティの場
- お互いの暮らしを支え合える場

地域の祭りやイベントと連携したプログラム

地域で開催されている祭りに企業がブースを出店したり、周辺の住民がお祭りの運営を手伝ったりし、長く継続するプログラムになっています。



- 住民の協力: 運営のお手伝い など
- 企業の協力: ブースの出店 など

遊びながら学ぶ防災イベント

火の起こし方やごはんの炊き方など、地域の大人たちが子どもに教えることで、日常的な防災意識を高めています。



- 住民の協力: 飯ごう炊さん イベントの開催 など
- 企業の協力: 道具の貸し出し など

シェアリングなどの助け合い

期限が切れそうな食品や使わなくなった玩具などを必要としている人の手に渡るように持ち寄ることで、お互いの生活を助け合う暮らしができています。



- 住民の協力: 使わなくなったものの提供 など
- 企業の協力: 売れ残った商品の提供 など

地域をまわる移動販売

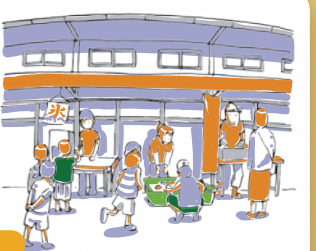
買い物が不便な地域には、企業が連携して、移動販売車に生活に必要な商品を積んで各地をまわっています。



- 住民の協力: 販売に合わせたイベントの開催 など
- 企業の協力: 移動販売車の運営 など

近隣センターの活性化

住民の「協力したい」、「やりたい」をつなげていく拠点、窓口として新たな役割を担います。世代間の交流や気軽に参加するきっかけづくりを行っています。



- 住民の協力: 近隣センターの相談役になる など
- 企業の協力: やりたいを実現できるような備品やマンパワーの手伝い など

近隣学生によるシェアハウス

大学生たちが千里で生活し、地域活動などにも積極的に参加。地域と学生の課題やニーズがWIN-WINの形で解決されるような関係づくりが行われています。



- 住民の協力: 地域の課題を伝える など
- 企業の協力: シェアハウスの運営支援 など

地域にある食材を使った食育活動

小学校の校庭や共同農園で育てた農作物を用いて、子どもから大人まで一緒になって考える食育活動を実施しています。



- 住民の協力: 野菜の提供 など
- 企業の協力: レシピの開発 など

転勤してきた人も気軽に集えるコミュニティづくり

遠方からの転居先として選ばれることが多い千里ニュータウンで、転居後の暮らしをサポートしたり、地域にあるコミュニティへの参加を支援しています。



- 住民の協力: 暮らしのヒントを話す など
- 企業の協力: 場所の提供 など

空き住戸を活用した託児や食堂

両親が共働きであっても、団地などの空き住戸を活用して、一時預かりができるようになっていきます。



- 住民の協力: スタッフとして運営に関わる など
- 企業の協力: 玩具の提供 など

モビリティによる移動手段の確保

起伏が激しく、また高齢化の課題を抱える千里ニュータウンの新たな移動手段となったモビリティを活用して買い物などに出かけています。



- 住民の協力: モビリティの利用 など
- 企業の協力: モビリティポートの整備 など